



iPass と Wi2、日本国内ローミングで提携

2010年3月3日

iPass Inc. (本社：米国カリフォルニア州レッドウッドシヨア、会長兼 CEO：エヴァン・カプラン、以下 iPass) と株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス (本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野雅夫、以下 Wi2) は提携し、iPass のユーザが Wi2 の提供する公衆無線 LAN サービス「Wi2 300」のアクセスポイントを利用可能となるローミングを開始しました。

iPass が 2008 年 9 月に発表した「iPass Mobile Broadband Index」(2008 年上半期) によると、東京での無線 LAN 利用はロンドン、シンガポールに次いで第 3 位にランクされており、今後も増加の一途をたどることが見込まれます。

Wi2 は、自社エリア及びローミングパートナーである BB モバイルポイントやライブドアのエリア、合計約 7000 か所以上で利用可能な公衆無線 LAN サービス「Wi2 300」を展開していますが、iPass のユーザは、今回新たに Wi2 の自社エリアである丸の内や横浜、成田空港・羽田空港を発着するリムジンバス等で公衆無線 LAN が利用できるようになりました。「Wi2 300」は、日本人だけでなく、日本在住及び訪日の外国人の方にも便利に使っていただけるサービスです。特に、成田発着のリムジンバス車内では、外国人の方の利用が半数近くを占めており、外国人の公衆無線 LAN サービスへの需要に着目しています。iPass は、東京に拠点を置く国内・海外法人顧客や、東京に出張で来る法人顧客ユーザの有力かつグローバルなユーザ基盤を有しており、Wi2 は、今回、グローバルな iPass ユーザが Wi2 の公衆無線 LAN ネットワークを活用する環境を用意しました。

iPass のアジア・パシフィック・サプライヤーリレーションズのシニア・マネジャーである Augustine Ler 氏は次のように述べています。「日本は、グローバル企業ユーザにとって重要なビジネスの拠点であり、我々のグローバルな Wi-Fi ネットワークをさらに拡張するため、新規のプロバイダを常に求めています。iPass は、140,000 か所以上の Wi-Fi アクセスポイントを有しており、今日世界で比類のないコネクティビティを提供しています。」

Wi2 は、ワイヤレス・プラットフォームの普及を通じて、ユーザの新たな利用シーンを創出していくとともに、ユーザが楽しめるコンテンツについてもラインアップを拡充します。そして、人々のライフスタイルに無線 LAN などの無線ブロードバンドがさらに広く普及することに注力して参ります。

【iPass】

iPass (NASDAQ: IPAS) は、1996 年に設立され、「Forbes Global 2000」の企業 370 社を含む合計 3,500 の企業顧客に対し、企業向けモビリティサービスを提供しているリーディングカンパニーです。iPass のミッションは、あらゆる端末からあらゆるネットワークに簡単、便利且つ自由に接続可能でありながら、企業顧客のニーズに対応した運営管理が可能なサービスを提供し、モビリティの世界で No1 企業になることです。詳しくは、<http://www.iPass.com>、もしくは Twitter(ツイッター) <http://www.twitter.com/iPass> をご覧ください。

【Wi2 300】

「Wi2 300」は、Wi2 が提供する無線ブロードバンド・インターネット接続サービスです。ノート PC、iPhone[™]3G などの Wi-Fi (無線 LAN) 対応デバイスで簡単接続が可能です。丸の内エリア (丸ビル、新丸ビル、丸の内オアゾの 3 ビル)、横浜ベイエリア、成田空港路線、羽田空港路線のリムジンバスなどの自社エリアに加え、ローミングエリア (BB モバイルポイント、ライブドア・ワイヤレス) など全国約 7000 か所以上の公衆無線 LAN スポットで利用できます。